

AT●4NEN

あと4年 未来を守れるのは今

環境と未来を守るための
署名に参加してください

どんどん激しくなる異常気象や増える自然災害に危機感を覚えていますか？地球の将来を想像して、不安に感じないでしょうか？私たちがいま普通に暮らしているこの瞬間も、地球の気温上昇はジリジリと加速しています。そして、これまで長い間、科学者たちが警告してきた、人間や他の生き物たちが今まで通りに暮らせない未来が、すぐそこまで迫っているのです。このキャンペーンに集まる声が大きければ大きいほど、未来を守れる可能性は高くなります。ぜひ、私たちのアクションと一緒に参加してください。

署名はここから↓



HOW

どうやって問題を解決するの？

5つの要望事項



透明性

気候・エネルギー政策の見直しは、若い世代を参加させ民主的に透明なプロセスで行うこと。



削減目標

2030年までの温室効果ガス排出削減目標は、2010年比で少なくとも50%以上削減とすること。



電源構成

2030年の電源構成は、省エネを第一に石炭火力と原発はゼロ、再エネ50%以上とすること。



原子力

原子力の利用をやめ、新增設や新型炉の開発は中止すること。



確実性

不確実な環境・社会影響が懸念される二酸化炭素回収・貯留などには頼らないこと。



産業革命以来、世界の平均気温はすでに1度以上上昇しました。1度の上昇でもすでに多くの被害が出ていますが、温暖化防止の国際条約「パリ協定」で掲げられている1.5度と2度の目標の間には大きな影響の差が出ることがわかっています。

**+1.5℃
or
+2.0℃**

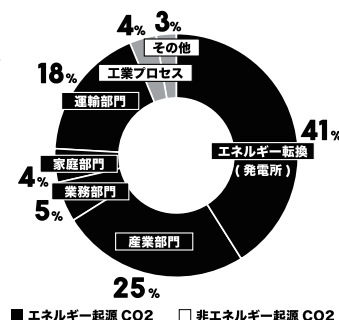
	1.5℃	2.0℃
昆虫 生態系が半減	約 6,360 種	約 19,080 種
熱波 少なくとも5年に1回	約 10 億人	約 27 億人
洪水リスク人口 1976-2095 年比	約 2 倍	約 2.7 倍
漁獲量減少 年間減少量	約 150 万トン	約 300 万トン

出典 | 「IPCC1.5度特別報告書」を元に作成



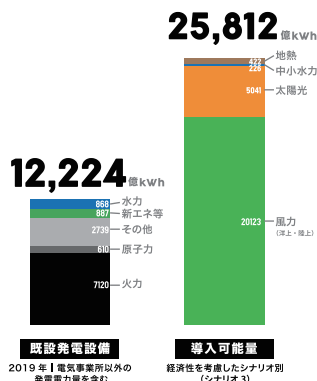
日本では、温暖化の原因である温室効果ガスの排出の9割は二酸化炭素(CO2)であり、その93%はエネルギー起源です。つまり、化石燃料(石炭・石油・天然ガス)の使用を大幅に減らすことが必要です。そのための勝負の時間はあと4年!

日本のCO2 排出量の
93%
がエネルギー起源



化石燃料から脱却するためには、温室効果ガスを出さず、環境への負荷が少ない再生可能エネルギーへの移行が急務です。日本の再エネの導入可能量は、自然条件の合う適地や事業の採算性を考慮に入れた場合でも、今の電力の2倍をまかなえると試算されています。

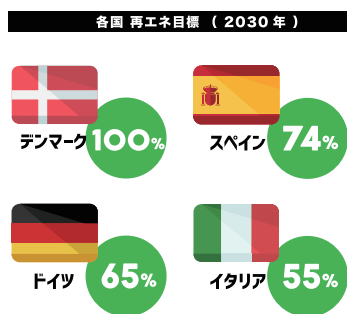
再エネ、
今の電力の
2倍
まかなえます。



現在、政府は今後の日本のエネルギーのあり方を決める大事な計画を見直しています。2030年時点で、石炭にも原発にも頼らず、いかに再エネ比率を増やせるかが鍵です。世界では、すでに高い目標を掲げている国々があります。

石炭火力
原発

再エネ
50%~



署名で声を届けよう!

ちょうど今、日本政府は、これからの日本のエネルギーのあり方を決定する大事な作業、「エネルギー基本計画」を見直しています。化石燃料や原発などに依存してきた企業の目先の経済的利益ではなく、私たちが大切にしたい環境、未来を守るために、今、私たち、ひとりひとりの声を届けませんか?

発足会見を見ることができます!
日本各地の悲痛な思いに耳を傾けよう!



● Official Web Site ●
キャンペーンの詳細は
コチラから!

